

東都大学準硬式野球連盟 活動に伴う リスクマネジメント 兼 緊急連絡フロー

リスクマネジメント

◆東都大学準硬式野球連盟はいかなる場合も、暴力やいじめ、ハラスメント行為は行わない。

◆学生であることを忘れずに、学業との両立はもちろんのこと、スポーツマンシップに則り行動する。

◆事件事故等の緊急時は「迷ったらすぐに **119** 番（消防・救急車）／ **110** 番（警察）」を心掛けること。

「救急車を呼ぶべきか」迷った時に使える救急安心センター **#7119** も覚えておくといよい。

公式試合中に事故が起きた場合は、連盟事務所に必ず電話を入れること。 **連盟事務所:03-3401-0824**

例:〇〇大学の〇〇です。〇〇の試合で〇〇が起き救急車を呼びましたのでご報告いたします。

例:〇〇大学の〇〇です。〇〇の試合でファールボールが車に当たってしまったので保険対応をお願いいたします。

◆練習時活動施設 及び 試合会場 に設置されているAED の場所を全員が把握する。

◆主務総務、主将、副主将が全部員の緊急連絡先を常に携帯しておく（但し、取り扱いには十分注意する）。

主務総務、主将、副主将は部長・監督・コーチの連絡先も把握しておく（部員連絡網同様、取り扱い要注意）。

◆常に危険と隣り合わせの競技をしていることを念頭におき、ボールから目を離さない、素振りをするときは周りを確認する等、当たり前に防げる

事故は起こさない意識付けを全部員が持つ。連盟・チームにとっても選手個人にとってもマイナスである。

◆球場や練習への移動時に自転車や自家用車を使用する際も、交通事故・交通違反に注意して行動する。

◆緊急時に対応できるよう、応急処置等の基本的な処置方法、AED の使い方など、リスク対策を定期的に見直す。

◆急病時に自宅で診察できる「ファスト・ドクター」というアプリも登録をしておくといよい。特に一人暮らしの部員。

スポーツ事故を防ぐために

スポーツ事故をゼロに、ではなく

→防げる事故を防ぐ（事故予防・これから発生するリスク）

スポーツ活動中の事故に対する配慮の視点

I 事故を生じさせない配慮

施設用具	1	施設等の不備・危険な施設等の放置
	2	施設等を正しく使用する
指導	1	正しい指導
	2	健康状態の把握等
プレイヤー	ルールを守る	
連盟	ルールの整備	

II 重大事故としないための配慮

III 事故を紛争にしない配慮

注意すべきリスク(例)

- ・試合・練習中の事故(けが)
- ・チーム内ハラスメント
- ・感染症・食物アレルギー等
- ・気象に関する事案(台風・雪・雷・猛暑など)
- ・交通によるトラブル
- ・その他

注意すべきリスクに対する準備(例)

- 1 部員自宅(ご父母)の連絡先を把握・共有
- 2 大学関係, 連盟関係の連絡先を把握・共有, 遠征・合宿など大学に届を提出すること。大学の指示を受ける。
- 3 宿泊先及びその付近の医療機関の連絡先を把握・共有
- 4 宿泊を伴う場合, 感染症などの流行具合により, 事前に宿泊施設と協議・相談(発熱などの対応準備, 隔離部屋の有無など)
- 5 気象情報(台風, 雪, 雷, 猛暑, ゲリラ豪雨等)を事前に収集し, 無理な行動はしない。スマホのアプリなどを駆使し情報を得るようにする。
- 6 遠征・合宿など通常時の活動と異なる場合, 公共交通機関を利用する。また, 往路・復路について, 複数経路調べておく。
- 7 食事に関するアレルギーなど調べておく。
- 8 保険証は必ず携帯すること。
- 9 常備薬, 解熱, 鎮静剤等は自分で持参させる。
- 10 様々な事故・事案に対応できる保険に加入する。

事案が発生した場合の対応(例)

※迅速に対応し,被害を最小限にとどめる。

- 1 けが等が発生した場合は,速やかに医療機関に受診させること。(救急対応の判断も必要)
 - ・ご父母,部関係者,大学関係者に速やかに連絡すること。
 - ・事故が発生した場合,練習などは継続しないで中断する。
- 2 宿泊を伴う合宿等で発熱など発症した場合,隔離した上で速やかに医療機関に受診させること。
 - ・他の感染者,感染の拡大に繋がらないよう,マスクの着用,消毒等を用意すること
 - ・ご父母,部関係者,大学関係者に速やかに連絡すること。
- 3 活動中に雷雨,ゲリラ豪雨等が発生した場合,速やかに活動を中断し,気象情報を確認すること。
 - ・熱中症対策も怠らない。
- 4 移動中のトラブル(事故)は警察・保険会社にも届ける。
 - ・相手がいる場合,連絡先を聞くことを怠らない。また,その対応は警察・保険会社の指示に従う。

→ 事後対応（現に発生しているリスク）

傷害事故発生

※頭部への死球・・・

※打球が心臓部へ直撃し、意識を失った・・・

※素振りのバットが直撃した・・・

意識の有無を確認する

ない

119番通報

意識が無い場合は即時
に AED 準備

ある

頭部, 頭部付近, 心臓部
付近の場合は様子見

必要に
応じて

※応急処置方法などを救急隊員に聞きながら、救急車が来るまで応急処置を実施

医療機関に搬送
(付き添う)

必要に応じて

出血, 腫れ, 痛みを確認

※練習後・試合後、もしくは速やかに通院し診てもらうこと。

- ・保護者へ連絡
- ・大学へ連絡
- ・部長, 監督へ連絡
- ・連盟へ連絡